

高等教育活性化シリーズ 376 (通算 707 回)

2018 年 12 月 13 日(木)

就活・就社のミスマッチ防止の根本対策——

コーオプ型教育のコンセプトと導入方策Ⅲ

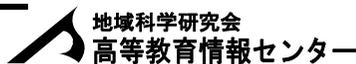
～ 大学主体のプログラム / 2・3・6 カ月超 / 社会協働 / 受入れ側の負担減 ～

- ※ インターンシップの更なる充実に向けて / 教育的効果を高めるために / 実態 / 関連施策 / 届出制
- ※ [東京工科大] コーオプ教育の導入経緯 / プログラムの全体像と教学運営 / 企業開拓 / 実績と成果
- ※ [新潟大] 学外学修推進とクォーター制 / 長期・企業実践型プログラムの運営と実際 / 成果と今後
- ※ [就実大] 経営学部創設理念と長期インターンシップ / 提携先・運営体制の実際 / 学生評価 / 知見
- ※ 中小企業が求める人材像とマッチングの課題 / 中・長期コーオプ教育への期待 / 中小企業の魅力

● 講師陣 ●

- 中湖 博則 氏 / 文部科学省 高等教育局 専門教育課 課長補佐
- 戸井 朗人 氏 / 東京工科大学 コーオプセンター長 工学部 教授
- 箕口 秀夫 氏 / (国) 新潟大学 副学長 (学生支援・就職支援担当)
- 杉山 慎策 氏 / 就実大学 経営学部長
- 広浜 泰久 氏 / 中小企業家同友会全国協議会 会長 (株) ヒロハマ 会長

2018 年 12 月 13 日(木) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



日 時 : 2018 年 12 月 13 日(木) 10:30 ~ 16:50

会 場 : 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL03-3230-2833

アクセス : 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」、
A1 出口より徒歩 3 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費 : A. ご一名 (資料代込) 41,000 円 (税込)

B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 42,000 円 (送料、税込)

C. 高等教育同人 (☆) 21,000 円 (税込)

※ メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。

※ なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆ 高等教育計画経営研究所同人は KJ の HP でご確認願います。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ、
FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

口座名 <(株)地域科学研究会>

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申 込 先 : 地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082

E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 376

コーオプ型教育のコンセプトと導入方策Ⅲ

(□に✓印を)

当日参加

年 月 日

メディア参加

支払方法 郵便振替

当日払い

銀行振込

必要書類 請求書

見積書

領収書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

(書類宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____

FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:30 ～ 11:00	<p>□ インターンシップの更なる充実に向けて ～ 教育的効果の高いインターンシップの推進 ～</p> <p style="text-align: right;">文部科学省 中湖 博則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. そもそもインターンシップとは 2. インターンシップの実態 3. インターンシップ関連施策 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:10 ～ 12:20	<p>□ [東京工科大] コーオプ教育プログラムの導入と実施 ～ 実学主義教育の実現に向けて ～</p> <p style="text-align: right;">東京工科大学 戸井 朗人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コーオプ教育導入の経緯 <ol style="list-style-type: none"> (1) コーオプ教育とは (2) コーオプ教育の目的 (3) 東京工科大学への導入 2. コーオプ教育の構成と運営 <ol style="list-style-type: none"> (1) コーオプ教育プログラムの全体像 (2) セメスターとクォーター (3) プログラムの推進体制 (4) 実習に向けた準備と運営 3. 現在までの実績と成果 <ol style="list-style-type: none"> (1) 受入企業実習における成果の協力 (2) 実習における成果 (3) 実習後のアンケート結果等 (4) 課題と今後に向けて <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:20 ～ 14:30	<p>□ [新潟大] 長期・企業実践型プログラムの展開 ～ 社会と連携した人財育成を目指して ～</p> <p style="text-align: right;">(国) 新潟大学 箕口 秀夫</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新潟大学における学外学修推進に向けた取組 <ol style="list-style-type: none"> (1) 理念及び中期目標 (2) 学外学修の推進とクォーター制の導入 (3) 連携教育支援センターの設置とその役割 2. 科目「1・2年生対象 長期・企業実践型プログラム」の運営と実際 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経緯、企業との連携状況 (2) 運営体制 (3) 目指す教育効果と学修プロセスの設計 (4) 達成度の評価 3. 成果・課題と今後の展望 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学生への教育効果 (2) 企業側から見た感触 (3) 課題と今後の展望 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:40 ～ 15:50	<p>□ [就実大] 経営学部長期インターンシップの教学運営と実際 ～ 経営学部の創設と長期インターンシップからの知見 ～</p> <p style="text-align: right;">就実大学 杉山 慎策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 就実大学の理念・沿革・現状 <ol style="list-style-type: none"> (1) 理念 (2) 沿革 (3) マクロ環境要因 (4) 現状 2. 経営学部の創設と現状 <ol style="list-style-type: none"> (1) 概要 (2) 入学状況 (3) グローカルフォーラム (4) 就職状況 3. 長期インターンシップの運営と知見 <ol style="list-style-type: none"> (1) 提携先 (2) 運営体制 (3) 学生の評価 (4) 定量調査からの知見 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
16:00 ～ 16:50	<p>□ 中小企業が求める人材像と大学教育への期待 ～ 中・長期コーオプ型教育で中小企業への理解促進を ～</p> <p style="text-align: right;">中小企業家同友会全国協議会 広浜 泰久</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の中小企業の現状と課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本経済・地域社会の担い手としての中小企業 (2) 中小企業家同友会がめざす企業像 (3) 多様な中小企業には多くの魅力がある 2. 中小企業が求める人材像とマッチングの課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自主／自らを貶めない (2) 民主／周りを貶めない (3) 連帯／自他の素晴らしさを最大限に発揮 3. 大学教育への期待 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「誇り」と「使命感」を (2) 「基礎学力」とその必要性を (3) 中小企業への理解を促す機会を <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>